

三好丘中学校区人権教育総合推進地域事業だより

—三好丘中・三好丘小・黒笹小—

スクラム

三好丘中学校区人権教育推進委員会
平成30年3月16日 NO. 4



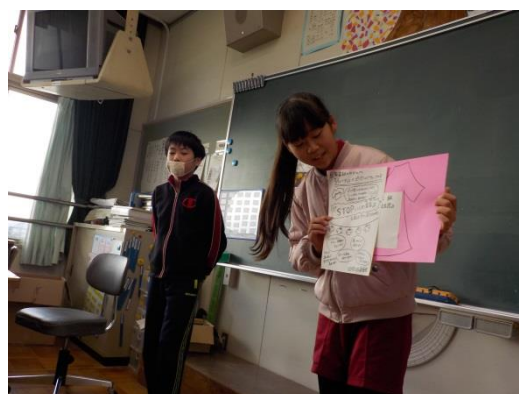
三好丘小学校には、毎月「ピンクシャツデー」があります。これは、ピンク色のシャツを着て登校した男の子がいじめられたことを知った子どもたち全員が、ピンク色のシャツを着て登校し、いじめた子に対して抗議し、いじめを許さないという意思表示をしたことを参考にして、本校独自で取り組んでいるものです。2月は国際交流委員会が中心になって、「ピンクシャツキャンペーン」を実施しました。5日（月）から9日（金）の期間に各クラスで話し合い、「STOPいじめ宣言」の掲示物（ピンクシャツ型の画用紙）を作成し、職員室前に掲示しました。

また、13日（火）から23日（金）の期間を「ピンクシャツウィーク」として、ピンク色の「ありがとうカード」を送ったり、ピンク色のものを身に付けて「いじめを許さない」という意思表示をしたりしました。この期間は、相手の気持ちを考えて行動する姿をたくさん見ることができました。これからは、この「ピンクシャツキャンペーン」をきっかけにして、優しく、思いやりをもって過ごすことができるような意識をさらに高めていきたいです。そして、よりよい三好丘小学校にしていきたいです。

（国際交流委員会 工藤 里香）



【「STOPいじめ宣言」の掲示物】



【学級で提案する国際交流委員】

- (1-1: みんなにやさしく なかよくして いじめをしません!)
- (1-2: 人はみんないっしょ。人によってわけない!)
- (1-3: いじめられていない人がいじめられている人をまもったり、たすけたりできるクラスにする。)
- (2-1: 「だいじょうぶ」「ごめんね」はたいせつなことば) (2-2: みんなとなかよくたすけあう)
- (2-3: みんなで声をかけあう!) (3-1: ピンクシャツ みんなで着れば なかよしさ)
- (3-2: 友だちに強く言ったり悪口を言ったりしない)
- (3-3: 勇気とは、あきらめない心。思い切って立ち向かうこと。)
- (4-1: 思いやりの心をもってみんながなかよくする。友だちを大切にしよう。笑って笑って笑顔を作ろう。)
- (4-2: 考えよう みんながうれしくなる言葉 みんなでスマイル 四年二組)
- (4-3: 助け合い みんなが平和になる世界) (5-1: 「大丈夫?」その一言は世界を救う)
- (5-2: 考えよう 相手の気持ち 作ろう 思いやりの輪) (5-3: いじめをしないと笑顔があふれる世界になる。)
- (6-1: 一人一人の気持ち、思いを考えて伝え、認め合おう)
- (6-2: ㊦となに相談 ㊧からかわない ㊨らないうりをしない ㊩びかける ゆ㊪きを出す)
- (6-3: 相手のことを正しく知る。相手の良いところをたくさん見つける。)
- (1学級1: ともだちとなかよくします) (1学級2: けんかをしない)
- (1学級3: みんなのすきなものは ばかにしないよ)

【各学級の「STOPいじめ宣言」】



卒業式を間近に控えた6年生は、1月から「卒業に向けて、自分たちができることを考えよう」と、クラスで話し合いを進めてきました。「運動場でたくさん遊んだり、授業をしたりした思い出がいっぱいなので、運動場の周りの草取りをしたい」「いつも安全に登下校ができるよう地域の方に見守っていただいたので、感謝の気持ちを伝えたい」など、自分たちが歩んできた足跡をたどりながら、子どもたちはたくさんアイデアを出し合いました。

その一環として、3月9日（金）の午後に「地域奉仕活動」を行いました。自分たちの思い出がいっぱい詰まった校区で何ができるか考え、必要な道具を準備して出向きました。黒笹ふれあいセンターやおおばふれあいセンターでは、側溝の清掃や館内の床磨きをしました。5つある公園では、遊具磨きや近辺のごみ拾いをしました。また、黒笹保育園では、トイレや手洗い場の掃除をし、園児たちと触れ合うこともできました。なつかしくよみがえる思い出にひたり、自分たちが成長してきたことを実感し、出し合ったアイデアを実践できたことで、地域への愛着と、卒業への自覚をさらに高めることができましたと振り返ります。支えて頂いた地域の皆さま、本当にありがとうございました。

（6年生主任 中垣 一行）



【ふれあいセンターの窓をぴかぴかにしました】



【あやとりを通して園児と交流しました】



3月6日（火）、3年生は三好丘中学校を卒業しました。「あ・じ・おもい」を合い言葉に3年間を過ごしました。「あ・じ・おもい」とは、あいさつをすること、時間を守ること、思いやりをもって過ごすということを表しています。2年生の後期には学年のリーダーが集まり、「時間を守ること」を「自立」に変え、新たな「あ・じ・おもい」を胸に過ごしました。3年生の後期の始まりには、これまでの自分たちを支えてくれた周りの人たちや学校に恩返しをしようと、「感謝」というテーマを付け加え、生活しました。「学校班」、「家族班」、「同級生班」、「後輩班」、「先生班」、「自分班」に分かれ自分たちにどんなことができるか、計画を立てました。そして、校舎の大掃除、健康観察板入れの作成、草捨て場の整備、後輩への合唱のプレゼント、先生方への感謝の手紙、地域の清掃活動などを通して感謝の気持ちを伝えました。3年生は一つ一つの活動に思いを込めて取り組み、その姿から感謝の心だけでなく、相手を思う優しい心や温かい雰囲気が伝わってきました。こうした雰囲気が「自他を認め、一人一人を大切に作る心」を培っていくのではないかと思います。この3年間で確実に成長を遂げた3年生、卒業後も新たな地でこうした温かい心を大切に過ごしてほしいと願っています。（研究主任 林 勝也）



【雑巾を作成している様子】



【校舎清掃の様子】



【地域清掃の様子】